



2023年3月27日

各位

会社名 ロードスターキャピタル株式会社  
代表者名 代表取締役社長 岩野 達志  
(コード番号：3482 東証プライム市場)  
問い合わせ先 取締役最高財務責任者 川畑 拓也  
(TEL. 03-6630-6690)

## スプリングキャピタル社 当社コーポレート・レポート発行

上場企業の経営指標を「成長性」、「売上高利益率」、「資本利益率」、「健全配当性向」の観点から客観的な同一基準で統計的処理を行い、企業ランキングの作成を行っているスプリングキャピタル社より、当社のコーポレート・レポート（次頁以降参照）が発行されました。

同レポートによれば、2023年2月基準における「経営指標総合ランキング」の中で、当社は3,518社中73位、上位から2.1%と極めて高い水準となっております。

当社は今後も健全な経営を行いながら、更なる成長を目指してまいります。

### 【当会社概要】

名称	ロードスターキャピタル株式会社
代表者	代表取締役社長 岩野 達志
資本金	14億円（資本準備金とあわせて27億円）
設立	2012年3月
グループ事業内容	コーポレートファンディング事業、クラウドファンディング事業、アセットマネジメント事業、不動産仲介・コンサルティング事業
グループ免許・登録	▼ロードスターキャピタル 第二種金融商品取引業 関東財務局長（金商）第2660号 宅地建物取引業 東京都知事（3）第94272号  ▼ロードスターインベストメンツ 投資運用業、第二種金融商品取引業、投資助言・代理業 関東財務局長（金商）第3260号 総合不動産投資顧問業 国土交通大臣 総合-第164号 宅地建物取引業 東京都知事（1）第104014号  ▼ロードスターファンディング 貸金業者登録番号 東京都知事（3）第31574号

目次

[ 簡易版ファクト・シート ]	P 8	大項目（4指標）ヒストリカル順位推移
P 1 定性情報・会社情報	P 9	ランキング算出根拠 全経営指標 5分位表（1）
P 2 決算データ、財務健全性検証及びコメント	P 1 0	ランキング算出根拠 全経営指標 5分位表（2）
P 3 バリュエーション、収益性指標及び順位	P 1 1	業種別経営指標ポイント平均
P 4 ROE / ROA / 配当性向 / DOE 順位等推移	[ 経営指標比較・レポート ]	
[ 経営指標ランキング・レポート ]	P 1 2	成長性比較（売上高 / 営業利益 / 経常利益）
P 5 「 経営指標総合 」	P 1 3	利益率比較（営業利益率 / 最終利益率）
P 6 「 経営指標総合 」ヒストリカル推移及びコメント	P 1 4	資本利益率比較（ROE / ROA）
P 7 大項目（4指標）における全社分布表	P 1 5 ~	ディスクレーマー

定性情報

- 【 事業概要 】
  - ・ 自己資金を用いた不動産の取得、その不動産の賃貸と売却を行う「コーポレートファンディング事業」、投資用不動産の管理・運用を行う「アセットマネジメント事業」、不動産に関する「仲介・PM・コンサルティング事業」、国内初の不動産特化型クラウドファンディングサービス「OwnersBook」による「クラウドファンディング事業」を行う。  
賃貸の主力は都市部の中規模オフィスビルであり、中小企業の入居ニーズが高く、コロナ禍の影響は大規模ビルに比べて軽微。創業以来、22年12月期まで10期連続で増収増益を達成。
- 【 22年度決算 】
  - ・ 増収率、増益率ともに前期比30%以上を達成。売上高は前期比31.9%増収の23,637百万円、営業利益が同34.3%増益の7,545百万円、経常利益が同35.7%増益の7,230百万円、最終利益である親会社株主に帰属する当期純利益が同39.7%増益の4,843百万円の好決算を発表。何れの金額も22年11月に発表した上方修正金額をも上回る着地となった。
  - ・ 不動産投資事業では大型物件を含む7物件を売却し、8物件を取得したが、取得物件の中にはインバウンド需要の拡大を見据えたホテル数物件も含まれている。売却した7物件のうち、2物件については売却後のアセットマネジメント事業を受託したが、そのアセットマネジメント事業は大きく伸長し、受託資産残高が前期末の約290億円から約800億円にまで拡大した。尚、同事業の22年度の売上高は前期比96.8%増加し、457百万円であった。（決算短信等）
- 【 経営指標ランキング 】
  - ・ 3月決算銘柄の第3四半期決算及び同社の22年度決算が反映された23年2月基準における「経営指標総合ポイント」は71.1、「経営指標総合ランキング」は3,518社中73位と、上位から2.1%の極めて高い水準であり、21年度確定順位（22年5月基準）の109位を上回っている。「経営指標総合ポイント」を構成する4つの大項目の何れも上位社基準を満し、中でも「資本利益率」、「売上高利益率」の高さは特筆に値する。23年度業績予想及び22年度の配当に係る指標の反映は23年度確定レポート（23年5月基準）となるため、同レポートでさらに順位を上昇させる可能性が十分にあるとSC社は予想している。（P5以降）

会社情報

2023年3月13日 現在

株式コード	3482				
正式名称	ロードスターキャピタル（株）				
本社事務所所在地	東京都中央区銀座1-9-13	プライム銀座柳通りビル			
主要取引市場	東証プライム				
東証業種区分	不動産業				
売買単位	100株	代表取締役社長	岩野 達志		
最低売買代金	137,900円	直近四半期末資本金	1,402百万円		
上場日	2017/09/28	時価総額	29,571百万円	1506位	3959社中
登記上設立日	2012/03/14	売買代金25日平均	318,352千円	892位	3959社中
決算月日	12/末	（2022年3月末時価総額）	37,227百万円	1274位	3919社中
大株主所有割合	65.0%	（2021年度平均売買代金）	320,578千円	890位	3919社中

会社発表決算データに基づくスプリングキャピタル社試算経営指標等 (単位: 百万円、%、倍)

会社発表決算データに基づく財務指標及びキャッシュフロー (スプリングキャピタル社算出)

(全社)会計年度 決算期		2018A/C 2018/12	2019A/C 2019/12	2020A/C 2020/12	2021A/C 2021/12	2022A/C 2022/12	直近 四半期決算
データ根拠		有報	有報	有報	有報	短信	
流動比率	%	611.2	797.1	962.9	953.2	1,145.2	
固定比率	%	4.6	3.7	3.4	2.2	3.7	
自己資本比率	%	17.8	17.6	15.0	18.9	22.2	
負債比率	%	461.8	467.0	564.5	427.8	349.7	
デットエクイティレシオ	%	326.0	324.0	414.8	309.2	259.3	
インタレストカバレッジレシオ	倍	12.8	16.7	16.4	17.8	21.5	
財務レバレッジ	倍	5.6	5.7	6.6	5.3	4.5	
営業活動によるC F	百万円	-4,398	-3,986	-4,118	-450	-1,517	
投資活動によるC F	百万円	-153	-31	0	12	-232	
財務活動によるC F	百万円	5,807	5,913	3,688	1,013	3,226	
(現金及び同等物)	百万円	(5,871)	(7,766)	(7,331)	(7,926)	(9,403)	
(EBITDA)	百万円	(2,665)	(3,930)	(4,923)	(6,113)	(8,166)	

## 財務健全性検証

2023年3月13日 現在

		A 29業種	B 不動産業	標準 A、Bの	標準値	望まれる 水準	同社数値	検証
流動比率	%	148.4	222.4	低い数値	148.4	より高い	1,145.2	○
固定比率	%	135.7	191.4	高い数値	191.4	より低い	3.7	○
自己資本比率	%	40.6	32.6	低い数値	32.6	より高い	22.2	△
負債比率	%	140.5	202.7	高い数値	202.7	より低い	349.7	△
デットエクイティレシオ	%	157.4	236.5	高い数値	236.5	より低い	259.3	△

## [ 財務健全性コメント ]

- ・ 検証結果は5項目中3項目で健全性標準を下回っているが、これらは同社のビジネスモデルに起因しており、現状の利益率等を勘案すると問題はないと判断される。

## (判断根拠)

- ・ 同社は、販売用不動産の取得がビジネスの中枢にあり、この取得に係る借入金によるレバレッジを用いた財務戦略は、同社のこれまでの成長を支えてきたものである。それでも、自己資本比率は22年度に22.2%にまで上昇しており、事業利益（営業利益と受取利息・配当金）が金融費用（支払利息・割引料）の何倍であるかを示すインタレストカバレッジレシオについても21.5倍にまで上昇していることから、成長軌道を辿りながらも財務健全性は高まっていると判断される。
- ・ また、同社の総資本（総資産）から生み出される事業利益の比率であるROAは、P4に示したように22年度に12.3%にまで上昇している。このパーセンテージは明らかに同社の資本コストよりも高い水準と推定され、現時点でレバレッジをかけた財務戦略は正当であるとSC社は判断している。（P2 P4 決算短信）

簡易版ファクト・シート

( バリュエーション・データ、決算データに基づく収益性指標 )

2023年3月13日  
スプリングキャピタル株式会社

バリュエーション及び市場データ

2023年3月13日 現在

終値	1,379.0 円	昨年来高値	2,311.0 円	2022/08/08
予想 P E R	4.46 倍	昨年来安値	937.0 円	2022/01/06
実績 P E R	4.58 倍	6ヶ月騰落率	-21.3 %	( TOPIX ) 0.7 %
実績 P B R	1.52 倍	12ヶ月騰落率	-5.9 %	( TOPIX ) 11.2 %
予想配当利回り	3.81 %	12ヶ月ヒストリカル・ボラティリティ	49.8 %	( TOPIX ) 16.0 %
EV/EBITDA	6.19 倍			
予想 P S R	0.76 倍			
実績 P S R	0.94 倍			

2023年2月末時点 収益性指標と全社順位 (金融を除く29業種) (スプリングキャピタル社算出)

(全社)会計年度 会社決算期		2018A/C 2018/12 実績	2019A/C 2019/12 実績	2020A/C 2020/12 実績	2021A/C 2021/12 実績	2022A/C 2022/12 実績	2022A/C 2023/12 見込み
対象社数	社	3512	3418	3651	3707	3697	
売上高 順位	百万円 位	9,670 2634	15,116 2203	16,979 2129	17,920 2124	23,637 1938	29,342
営業利益 順位	百万円 位	2,392 1404	3,653 1057	4,484 873	5,618 889	7,545 787	8,114
経常利益 順位	百万円 位	2,117 1536	3,272 1123	4,168 927	5,327 967	7,230 832	7,619
当期純利益 順位	百万円 位	1,359 1508	2,077 1083	2,700 902	3,465 987	4,843 829	4,965

\* 企業規模の影響を受けるため、上位からのパーセンテージは算出しない。

売上高営業利益率	%	24.7	24.2	26.4	31.4	31.9	27.7
全社合計	%	7.2	5.9	5.5	7.2	6.8	
順位	位	112	110	90	74	68	
上位からのパーセンテージ	%	3.2	3.2	2.5	2.0	1.8	

売上高経常利益率	%	21.9	21.6	24.5	29.7	30.6	26.0
全社合計	%	7.2	6.1	5.9	8.1	7.4	
順位	位	149	143	104	103	87	
上位からのパーセンテージ	%	4.2	4.2	2.8	2.8	2.4	

売上高最終利益率	%	14.1	13.7	15.9	19.3	20.5	16.9
全社合計	%	4.9	3.5	3.5	5.6	5.0	
順位	位	205	188	141	151	116	
上位からのパーセンテージ	%	5.8	5.5	3.9	4.1	3.1	

## 2023年2月末時点 資本利益率と配当性向指標順位 (金融を除く29業種) (スプリングキャピタル社算出)

(全社)会計年度		2018A/C	2019A/C	2020A/C	2021A/C	2022A/C	2023A/C
会計年度末		2018/12	2019/12	2020/12	2021/12	2022/12	2023/12
		実績	実績	実績	実績	実績	見込み
ROE	%	26.0	30.3	34.8	37.5	38.2	
29業種合計	%	9.4	6.5	5.9	9.7	9.0	
順位	位	132	92	64	75	53	
対象社数	社	3507	3509	3615	3665	3683	
上位からのパーセンテージ	%	3.8	2.6	1.8	2.0	1.4	

- \* 当期純利益÷自己資本 (≒株主資本) 株主資本を使ってどのくらい最終的な利益率を確保したのかを表す重要指標。  
2期の期末自己資本の平均を分母とするため、該当期間に自己資本がゼロ以下となった企業は対象外。  
直近四半期決算におけるROEは、当期純利益の今年度見込み、及び、前年度末の自己資本と直近四半期の自己資本の平均から試算。

ROA	%	8.7	9.4	9.4	10.4	12.3	
29業種合計	%	6.0	4.7	3.9	5.3	5.1	
順位	位	921	812	720	780	533	
対象社数	社	3512	3522	3644	3694	3697	
上位からのパーセンテージ	%	26.2	23.1	19.8	21.1	14.4	

- \* 事業利益 (営業利益+利息・配当金収入) ÷ 総資産 この数字が企業の金融コスト (例: 社債発行コスト10年 = 2%など) を上回っていれば、借入れ等による財務レバレッジにより事業を拡大させることが正当化される。  
この事業利益が金融費用 (支払利息・割引料) の何倍であるかを示したのがP2のインタレストカバレッジレシオであり、10倍以上が理想とされる。ROA、(売上高) 利益率が高く、インタレストカバレッジレシオが十分な水準であれば、企業が積極的な財務活動を行っても問題はないと言える。2期の期末総資産の平均を分母とするため、同一基準で計測できない企業は対象外。  
直近四半期決算におけるROAは、営業利益の今年度見込み、及び、前年度末の総資産と直近四半期の総資産の平均により試算。

配当性向	%	14.8	14.9	14.9	15.2	16.6	
29業種合計	%	32.4	46.8	48.3	33.7		
順位	位	2374	2276	2271	2332		
対象社数	社	3579	3548	3651	3708		
上位からのパーセンテージ	%	66.3	64.1	62.2	62.9		

- \* (配当総額÷当期純利益) により算出。  
会計原則の1株あたり利益から算出された企業発表数値と異なる場合があることに注意。  
順位対象外: 「利益超過配当企業」、「赤字決算でも配当を行った企業」

DOE	%	3.9	4.5	5.2	5.7	6.3	
29業種合計	%	3.0	3.1	2.8	3.3		
順位	位	516	397	282	292		
対象社数	社	3507	3509	3615	3665		
上位からのパーセンテージ	%	14.7	11.3	7.8	8.0		

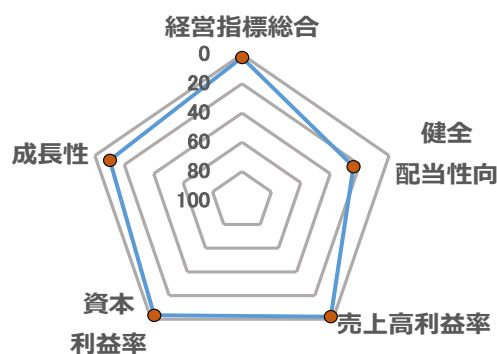
- \* DOE = ROE × 配当性向 真の配当性向とも呼ばれる。高い方が良く、この逆数 (1 ÷ DOE) が配当による自己資本 (≒株主資本) の回収期間 (年) となることから外国人投資家も注目している指標。  
2期の期末自己資本の平均を分母とするため、該当期間に自己資本がゼロ以下となった企業は対象外。

「 経営指標総合 」

(29業種全社内)	ポイント	上位から	ランキング	ポイント(全社平均50)				
				30	40	50	60	70
経営指標総合	71.1	2.1 %	73 位 3518 社中	*****	*****	*****	*****	*****

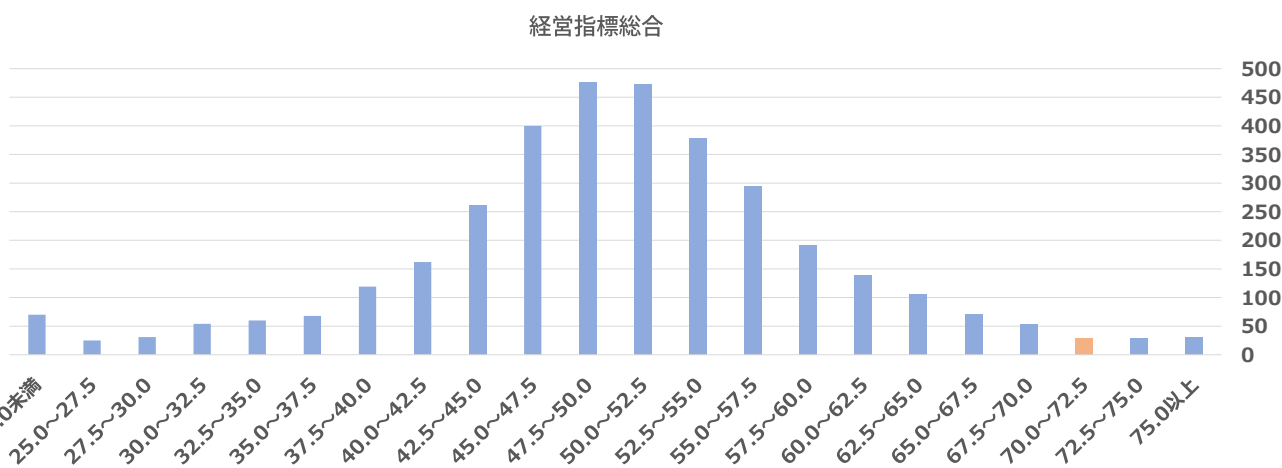
「経営指標総合」を構成する4項目(大項目) (後掲)				ポイント(全社平均50)				
	ポイント	上位から	ランキング	30	40	50	60	70
成長性	62.2	10.1 %	355 位 3518 社中	*****	*****	*****	*****	*****
資本利益率	69.3	3.4 %	119 位 3518 社中	*****	*****	*****	*****	*****
売上高利益率	77.1	2.3 %	80 位 3518 社中	*****	*****	*****	*****	*****
健全配当性向	55.6	24.2 %	853 位 3518 社中	*****	*****	*****	*****	*****

(不動産業内)	ポイント	上位から	ランキング
経営指標総合	71.1	2.2 %	3 位 139 社中
成長性	62.2	15.1 %	21 位 139 社中
資本利益率	69.3	3.6 %	5 位 139 社中
売上高利益率	77.1	5.0 %	7 位 139 社中
健全配当性向	55.6	28.8 %	40 位 139 社中



... 上位30%以内

「 経営指標総合ポイント 」 29業種3518社 分布表 (茶色: 同社) (右: 社数)

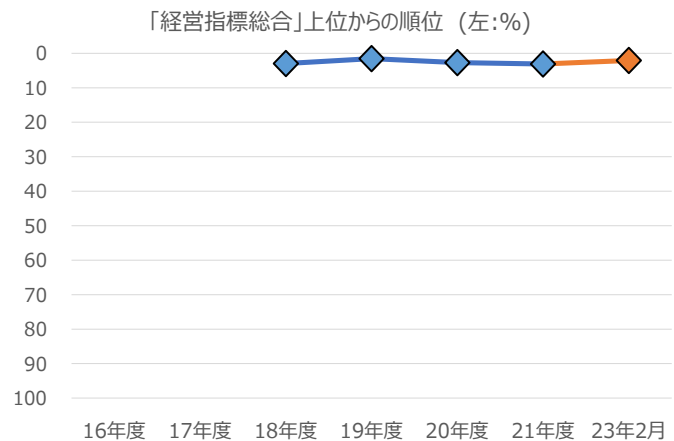
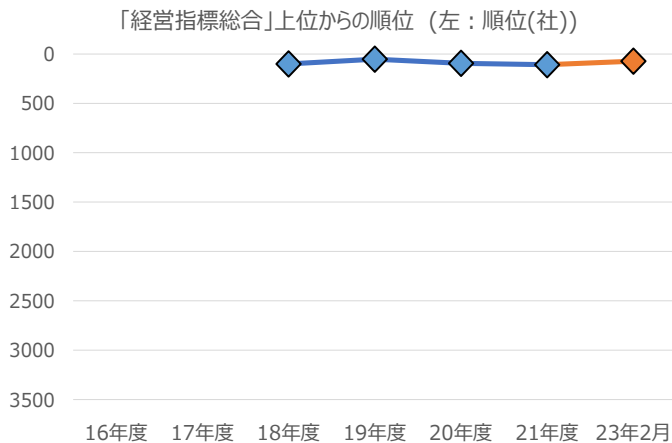


「 経営指標総合ポイント 」 ヒストリカル推移 順位表 / 上位からのパーセンテージ

決算	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
ランキング基準日	17年5月	18年5月	19年5月	20年5月	21年5月	22年5月
社数	3326 社	3372 社	3408 社	3366 社	3472 社	3518 社
順位	対象外	対象外	101 位	52 位	94 位	109 位
上位から	対象外	対象外	3.0 %	1.5 %	2.7 %	3.1 %



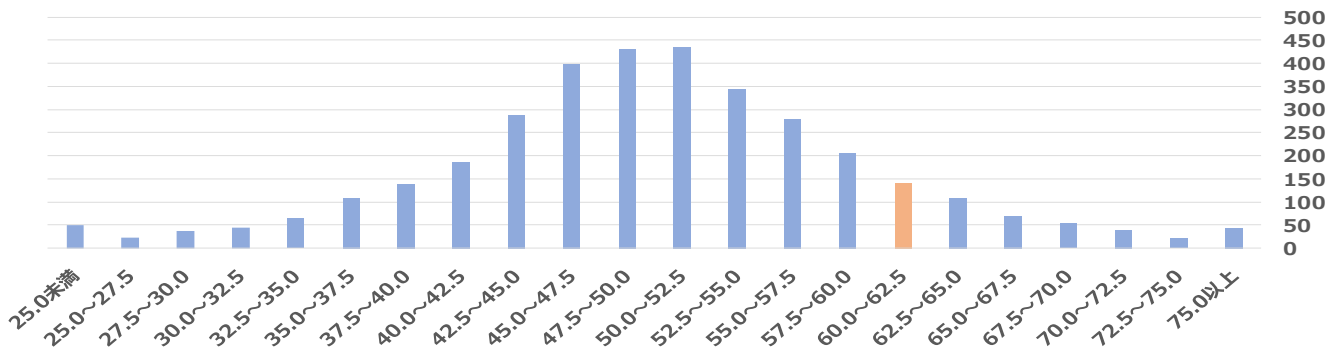
「経営指標総合」ヒストリカル順位推移



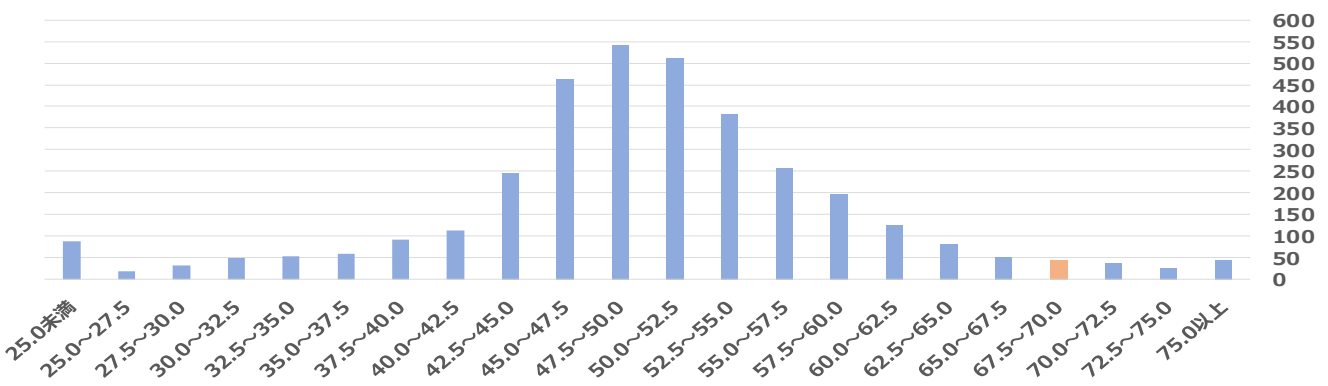
[ 総合コメント (定性評価を含む) ]

- 3月決算銘柄の第3四半期決算並びに同社の22年12月期（本決算）が反映された23年2月基準における同社の「経営指標総合ポイント」は71.1、順位は3,518社中73位となった。SC社は上位から30%以内を「上位社」と定義しているが、同社の数値はこの水準を大きく上回る2.1%となっており、対象社のおよそ50社に1社程度の極めて優れた経営指標であると、SC社は評価する。(P5)
- その経営指標であるが、「経営指標総合ポイント」を構成する4つの大項目（「成長性」、「資本利益率」、「売上高利益率」、「健全配当性向」）の全てが上位から30%以内となっており、極めてバランスの良いものとなっているが、特に「資本利益率」、「売上高利益率」の上位からの比率は5%内の高いもの（それぞれ、3.4%、2.3%）となっており、資本、売上双方から生み出される利益率が高いことが分かる。この状況は、「資本利益率」については、P4のROE、ROAの高さからも見て取れる。P4の対象社は本ランキングと異なっているものの、同社の22年度のROEは38.2%と極めて高く、対象社3,683社中53位の水準であり、しかも、この30%を超える水準を直近4期継続している。また、P3に売上高に対する各利益率が掲載されているが、営業利益率は3,697社中68位、最終利益（当期純利益）率も116位と、こちらも極めて高位である。(P3 P4 P5)
- 尚、同社は23年度の業績予想（P3参照）を発表しているが、この数値及び22年度の配当性向、DOE（P4参照）については、本レポートにおいては反映されておらず、3月決算企業のそれらが出揃う23年5月基準レポート（22年度確定レポート）において反映される。そのため、SC社は22年度確定順位において、本レポートよりもさらに順位が上昇し、19年度に同社が記録した過去最高順位である52位を更新する可能性も十分にあると予想している。(P3 P4 P5)

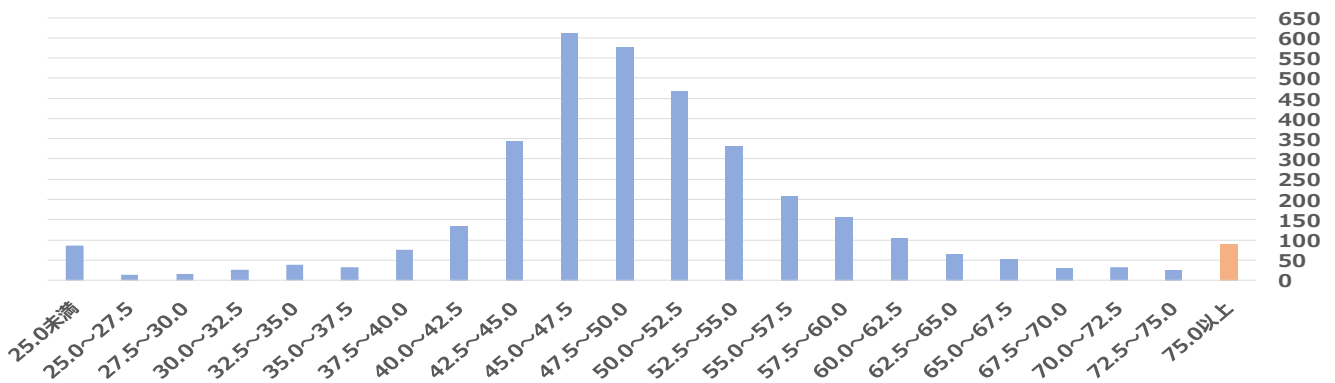
「 成長性 」 29業種3518社 分布表 (茶色:同社) (右:社数)



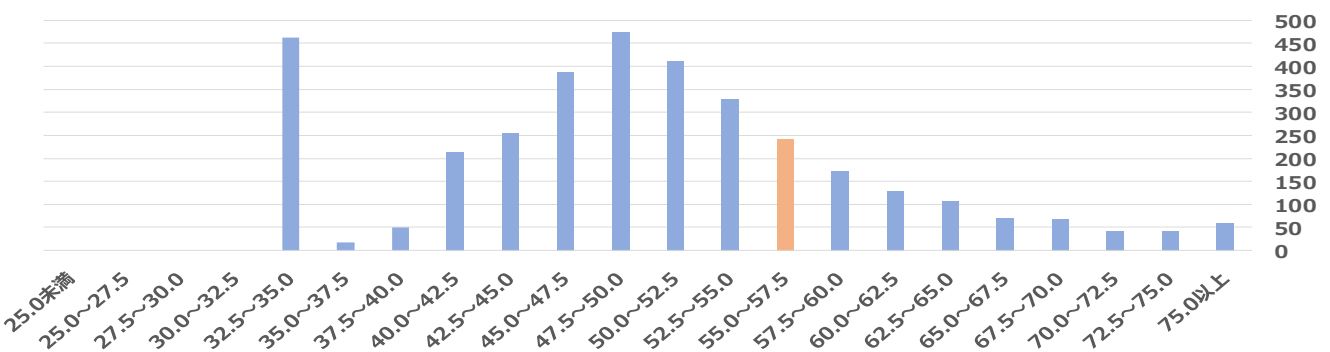
「 資本利益率 」 29業種3518社 分布表 (茶色:同社) (右:社数)



「 売上高利益率 」 29業種3518社 分布表 (茶色:同社) (右:社数)

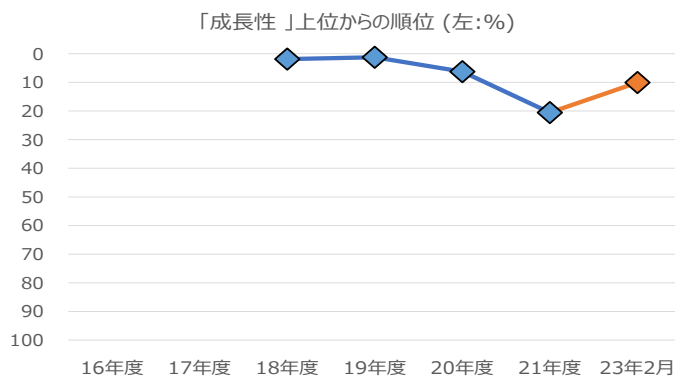
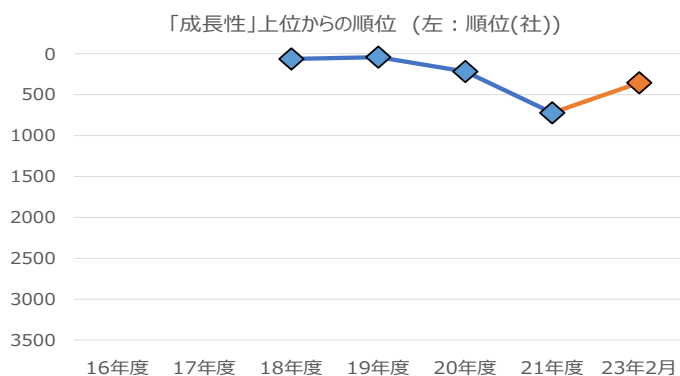


「 健全配当性向 」 29業種3518社 分布表 (茶色:同社) (右:社数)

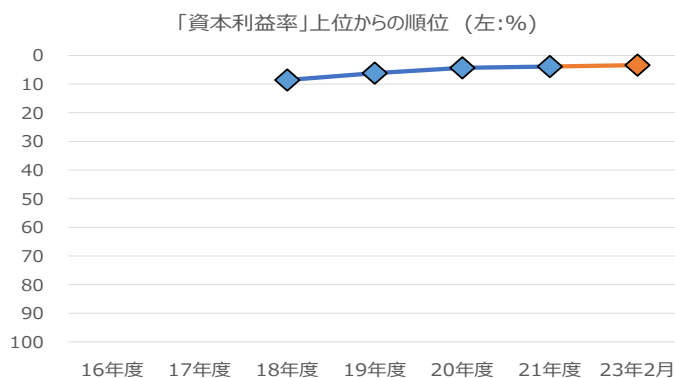
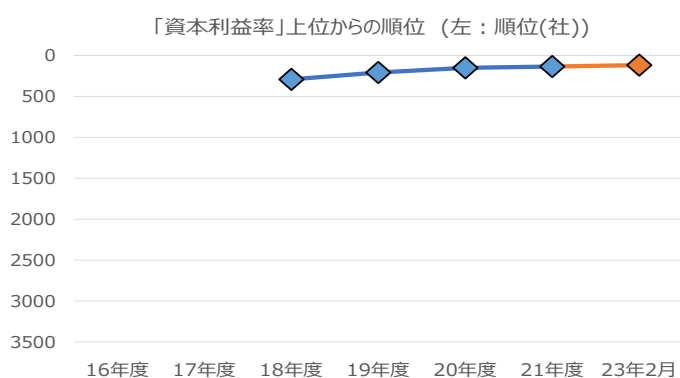




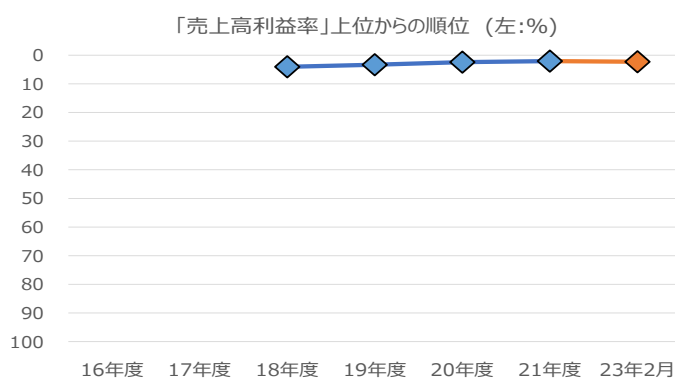
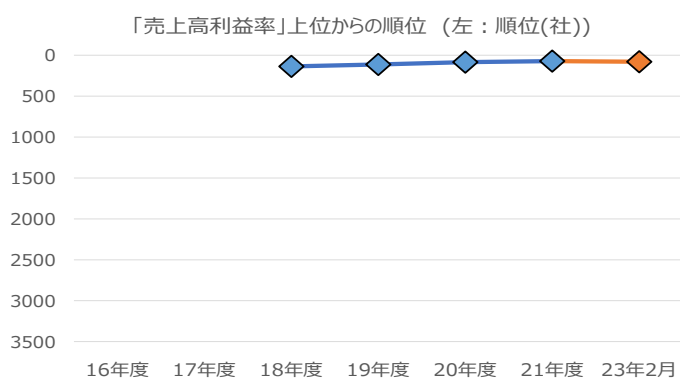
「成長性」ヒストリカル推移 グラフ



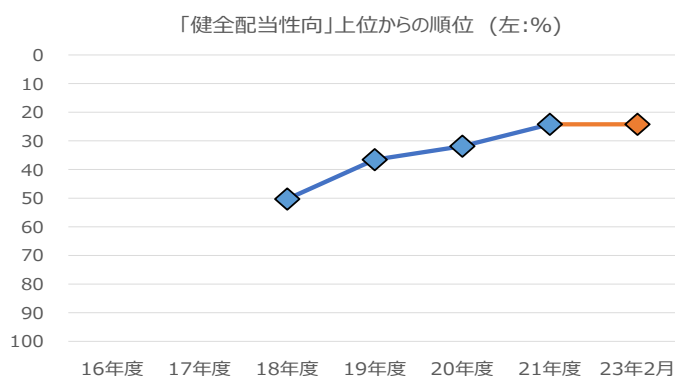
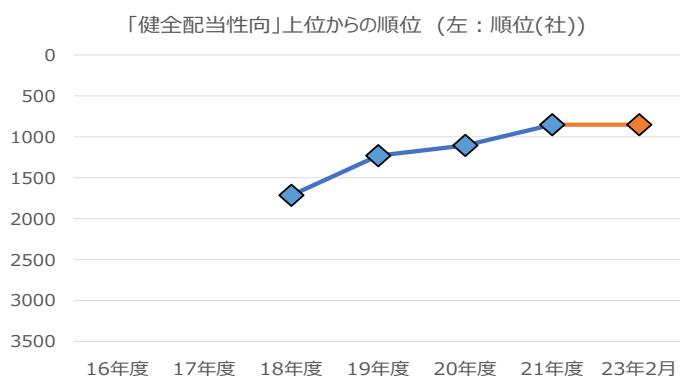
「資本利益率」ヒストリカル推移 グラフ



「売上高利益率」ヒストリカル推移 グラフ



「健全配当性向」ヒストリカル推移 グラフ



経営指標ランキング5分位 (全項目)

	上位から 80%~100%	上位から 60%~80%	上位から 40%~60%	上位から 20%~40%	上位から 20%以内
【 経営指標総合 】… ★					★

【 大項目 】… ☆	上位から 80%~100%	上位から 60%~80%	上位から 40%~60%	上位から 20%~40%	上位から 20%以内
【 成長性 】					☆
【 資本利益率 】					☆
【 売上高利益率 】					☆
【 健全配当性向 】				☆	

(成長性・中項目) … ●	上位から 80%~100%	上位から 60%~80%	上位から 40%~60%	上位から 20%~40%	上位から 20%以内
<小項目> … ◎					
( 3期 )					●
< 売上高成長率 >					◎
< 営業利益成長率 >					◎
< 経常利益成長率 >					◎
< 最終利益成長率 >					◎
( 前期 )			●		
< 売上高成長率 >			◎		
< 営業利益成長率 >			◎		
< 経常利益成長率 >			◎		
< 最終利益成長率 >			◎		
( 今期 )					●
< 売上高成長率 >					◎
< 営業利益成長率 >				◎	
< 経常利益成長率 >				◎	
< 最終利益成長率 >				◎	

経営指標ランキング5分位 (全項目) 続き

(資本利益率・中項目) … ●	上位から	上位から	上位から	上位から	上位から
<小項目> … ◎	80%~100%	60%~80%	40%~60%	20%~40%	20%以内
( ROA )					●
< ROA 3期 >					◎
< ROA 1期 >				◎	
< ROA 今期 >					◎
( ROE )					●
< ROE 3期 >					◎
< ROE 1期 >					◎
< ROE 今期 >					◎

(売上高利益率・中項目) … ●	上位から	上位から	上位から	上位から	上位から
<小項目> … ◎	80%~100%	60%~80%	40%~60%	20%~40%	20%以内
( 前期 )					●
< 営業利益率 >					◎
< 経常利益率 >					◎
< 最終利益率 >					◎
( 今期 )					●
< 営業利益率 >					◎
< 経常利益率 >					◎
< 最終利益率 >					◎

(健全配当性向・中項目) … ●	上位から	上位から	上位から	上位から	上位から
<小項目> … ◎	80%~100%	60%~80%	40%~60%	20%~40%	20%以内
( 3期 )				●	
< 配当性向 >		◎			
< DOE >					◎
( 前期 )				●	
< 配当性向 >		◎			
< DOE >					◎

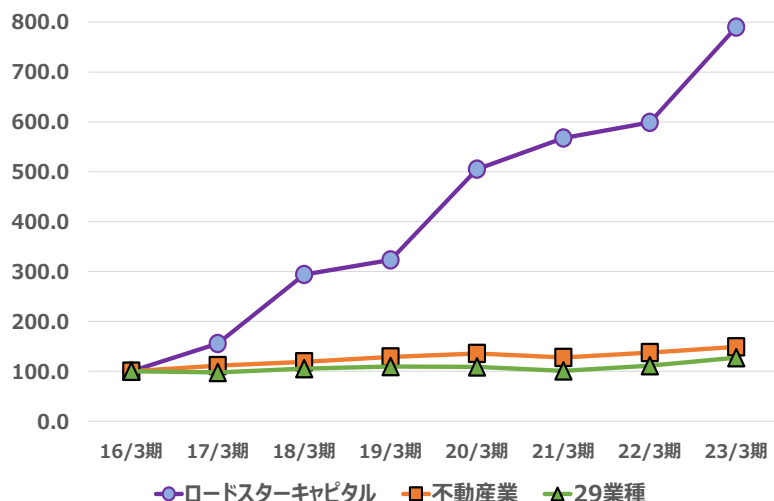
(参考資料)

業種別経営指標ポイント平均

	社数	経営指標総合	順位	成長性	順位	資本利益率	順位	売上高利益率	順位	健全配当性向	順位
水産・農林業	12	49.5	15	47.5	23	52.4	4	49.0	16	49.9	14
鉱業	6	59.6	2	63.4	2	53.1	3	61.8	1	49.2	16
建設業	163	48.3	19	45.6	27	50.5	9	48.6	18	51.3	5
食料品	122	47.3	23	45.0	28	48.7	18	48.0	21	51.1	8
繊維製品	51	45.1	27	47.5	22	43.6	27	46.8	25	47.8	26
パルプ・紙	25	47.7	22	50.3	15	47.6	23	48.5	19	46.7	28
化学	213	51.2	7	49.4	19	51.0	8	52.3	6	51.5	4
医薬品	62	45.4	26	49.9	18	42.4	28	46.1	26	47.4	27
石油・石炭製品	11	51.2	8	52.1	6	50.1	11	48.8	17	51.8	3
ゴム製品	19	48.9	17	47.3	24	48.6	19	50.8	10	50.9	9
ガラス・土石製品	57	48.3	20	46.4	26	49.1	16	51.0	9	49.4	15
鉄鋼	44	51.4	6	56.0	3	48.5	21	50.1	13	48.3	23
非鉄金属	35	51.0	11	55.4	4	49.7	13	48.2	20	48.0	25
金属製品	92	47.9	21	47.2	25	48.5	20	49.7	15	49.1	19
機械	225	51.0	10	50.1	17	49.7	14	52.5	5	51.1	7
電気機器	245	51.1	9	51.1	12	50.2	10	51.6	8	50.3	13
輸送用機器	90	47.0	24	48.4	20	46.3	25	47.0	24	49.1	18
精密機器	48	50.8	13	50.9	14	49.1	17	51.8	7	50.7	10
その他製品	108	50.9	12	51.2	11	49.7	12	50.2	12	51.2	6
電気・ガス業	24	43.9	28	42.7	29	46.2	26	44.9	28	49.0	20
陸運業	66	48.5	18	51.0	13	47.9	22	47.7	22	48.3	22
海運業	12	62.1	1	63.8	1	55.8	1	61.0	2	54.0	1
空運業	5	42.5	29	54.2	5	38.3	29	39.7	29	43.0	29
倉庫・運輸関連業	40	50.4	14	51.8	7	51.2	7	49.8	14	48.1	24
情報・通信業	502	52.3	4	51.6	8	53.4	2	52.7	4	49.2	17
卸売業	309	49.3	16	50.3	16	49.4	15	47.1	23	50.6	11
小売業	327	46.4	25	48.3	21	46.6	24	45.7	27	48.4	21
不動産業	139	52.9	3	51.3	9	52.3	5	53.3	3	51.8	2
サービス業	466	51.4	5	51.2	10	51.8	6	50.7	11	50.4	12
全業種	3518	50.0		50.0		50.0		50.0		50.0	

成長性比較

売上高推移 (16/03月期=100)

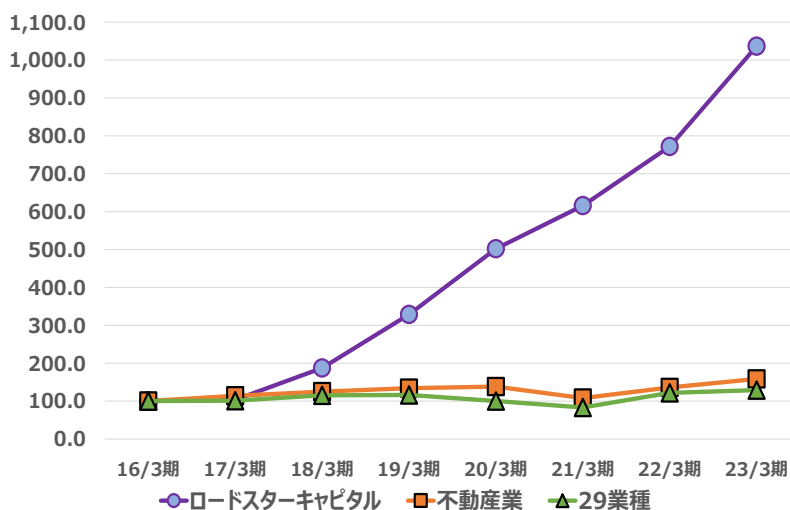


売上高対前期増減率 (%)

	ロードスターキャピタル	不動産業	29業種
17/03期	55.7	11.3	-2.2
18/03期	88.8	6.7	7.8
19/03期	10.0	8.4	3.9
20/03期	56.3	5.3	-0.8
21/03期	12.3	-5.8	-7.3
22/03期	5.5	7.5	10.4
23/03期	31.9	8.4	14.3

16/03期-23/03期	ロードスターキャピタル	不動産業	29業種
7期平均成長率	34.3	5.9	3.5

営業利益推移 (16/03月期=100)

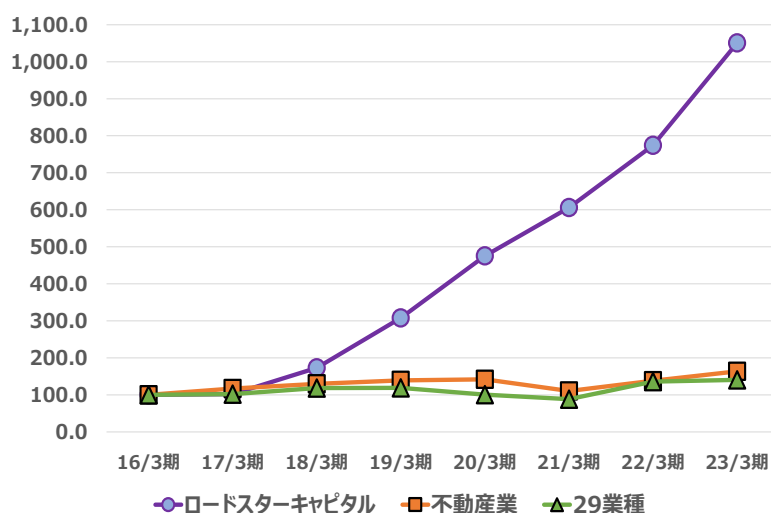


営業利益対前期増減率 (%)

	ロードスターキャピタル	不動産業	29業種
17/03期	3.0	13.8	1.2
18/03期	81.9	9.8	14.0
19/03期	75.4	7.1	0.5
20/03期	52.7	3.3	-13.7
21/03期	22.7	-22.1	-16.9
22/03期	25.3	25.9	46.0
23/03期	34.3	16.6	6.2

16/03期-23/03期	ロードスターキャピタル	不動産業	29業種
7期平均成長率	39.7	6.8	3.7

経常利益推移 (16/03月期=100)



経常利益対前期増減率 (%)

	ロードスターキャピタル	不動産業	29業種
17/03期	2.2	17.2	2.2
18/03期	69.1	10.8	15.9
19/03期	78.0	7.1	0.2
20/03期	54.6	2.2	-15.1
21/03期	27.4	-22.4	-12.2
22/03期	27.8	25.5	53.5
23/03期	35.7	18.3	3.4

16/03期-23/03期	ロードスターキャピタル	不動産業	29業種
7期平均成長率	39.9	7.3	5.0

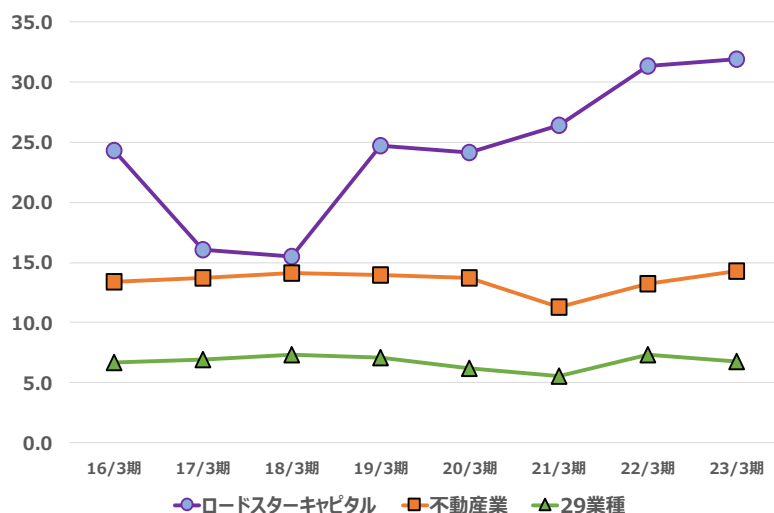
# 利益率比較

## ( 営業利益率 最終利益率 推移 )

2023年3月13日  
スプリングキャピタル株式会社

### 利益率比較

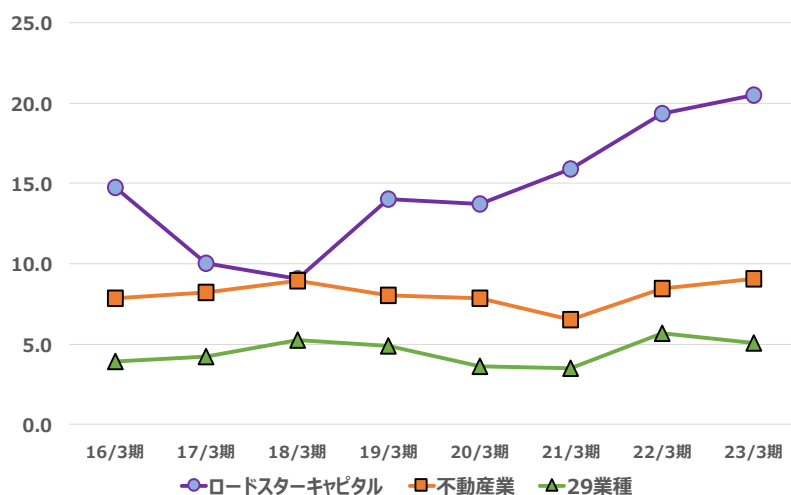
売上高営業利益率推移 (%)



売上高営業利益率推移 (%)

	ロードスターキャピタル	不動産業	29業種
16/03期	24.3	13.4	6.7
17/03期	16.1	13.7	6.9
18/03期	15.5	14.1	7.3
19/03期	24.7	13.9	7.1
20/03期	24.2	13.7	6.2
21/03期	26.4	11.3	5.5
22/03期	31.4	13.3	7.3
23/03期	31.9	14.2	6.8
16/03期 - 23/03期 8期平均	24.3	13.5	6.7

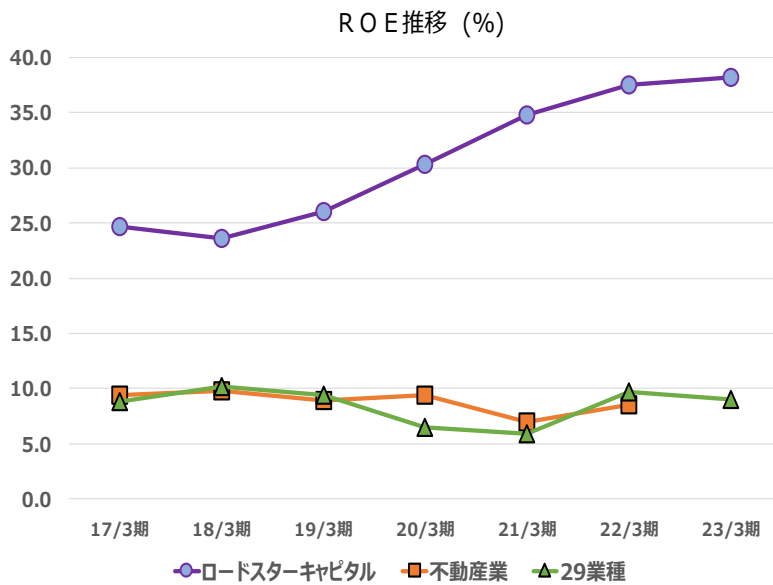
売上高最終利益率推移 (%)



売上高最終利益率推移 (%)

	ロードスターキャピタル	不動産業	29業種
16/03期	14.8	7.9	3.9
17/03期	10.0	8.2	4.2
18/03期	9.0	8.9	5.3
19/03期	14.1	8.1	4.9
20/03期	13.7	7.9	3.6
21/03期	15.9	6.5	3.5
22/03期	19.3	8.4	5.7
23/03期	20.5	9.1	5.0
16/03期 - 23/03期 8期平均	14.7	8.1	4.5

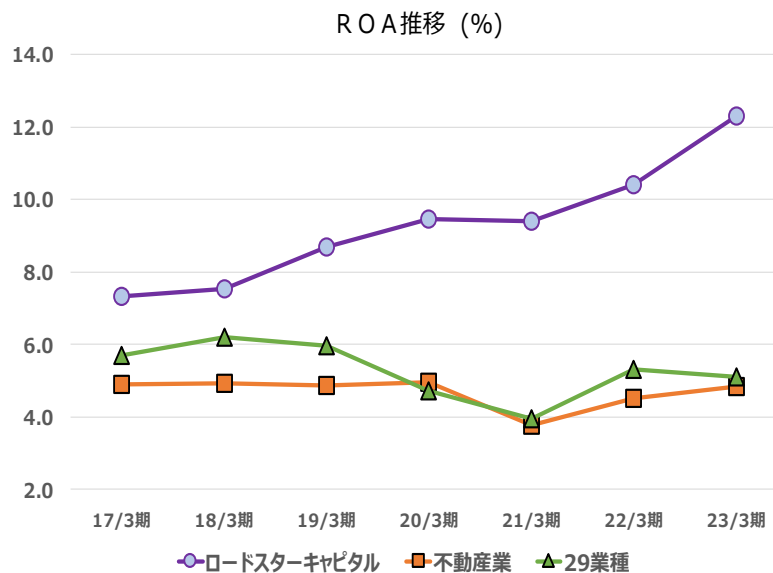
ROE比較



ROE推移 (%)

	ロードスターキャピタル	不動産業	29業種
17/03期	24.7	9.4	8.8
18/03期	23.6	9.8	10.2
19/03期	26.0	8.9	9.4
20/03期	30.3	9.4	6.5
21/03期	34.8	6.9	5.9
22/03期	37.5	8.5	9.7
23/03期	38.2	9.4	9.0
17/03期 - 23/03期 7期平均	30.7	8.9	8.5

ROA比較



ROA推移 (%)

	ロードスターキャピタル	不動産業	29業種
17/03期	7.3	4.9	5.7
18/03期	7.5	4.9	6.2
19/03期	8.7	4.9	6.0
20/03期	9.4	5.0	4.7
21/03期	9.4	3.8	3.9
22/03期	10.4	4.5	5.3
23/03期	12.3	4.8	5.1
17/03期 - 23/03期 7期平均	9.3	4.7	5.3



## ディスクレマー

- ・ ロードスターキャピタル株式会社（以下、「同社」）は、スプリングキャピタル株式会社（以下、「SC社」）が、本レポートを作成するにあたり、同社の恣意性を排斥し、定性情報、経営指標ランキングに採用する経営指標、比較レポートに採用する業種区分（または同業区分）等、全ての項目において、SC社の基準によることを承諾している。
- ・ 本レポートは、客観的な視点に立った経営指標ランキングを企業がモニタリングすることを目的に作成されており、投資の勧誘等を意図したものではない。そのため、投資の判断、投資の行為は投資家自らの意思で行われることであり、同社及びSC社は、その行為、結果等に一切責任を負わない。
- ・ SC社は、本レポートの配布について、同社に制限を定めないが、経営指標ランキング、及び比較レポートに関する全てのデータの著作権を含む知的所有権はSC社に帰属する。そのため、本レポート閲覧者などが、SC社の許可なく、本レポート及びデータ等を無断で掲載、転載、公表する等の行為（電磁媒体による行為も含む）を一切禁止する。

## 比較レポートに関するディスクレマー

- ・ P 12～P 14の比較レポートにおいて、「成長性」、「利益率」、「ROE」、「ROA」について、「29業種」及び東証業種区分における同業に対してその推移の比較を行っているが、「ROE」、「ROA」の数値はP 4掲載数値と同一であるものの、「成長性」、「利益率」については、P 3掲載数値と一致していない。これは、「成長性」の長期比較を可能とするため、比較レポートの対象企業については、「29業種」及び東証業種区分における同業企業ともに、2012年度から2021年度まで継続して本決算を発表していた企業のみを対象としているからであり、この、成長性比較のためのユニバースの変更は、毎年、前年度の順位確定レポートである5月基準レポートにおいて行われる。
- ・ また、「ROE」、「ROA」については、P 4「簡易版ファクト・シート」のそれぞれの項で説明しているSC社基準により比較を行っている。

## 経営指標総合ランキングに関するディスクレマー

- ・ 本レポートにおける全業種とは、東証33業種区分のうち会計基準の違う金融4業種（銀行・証券商品・保険・その他金融）を除いた29業種であり、2022年3月末日に普通株式が日本市場において上場している全企業を対象としている。また、成長性、ROA、ROE等の算出において直近4事業年度の本決算数値を用いるため、同期間において、本決算を発表していない企業、1度でも自己資本がゼロまたはマイナスとなった企業、及び、決算を日本基準に引き直す際に会社発表決算数値から合理性のある数字を算出できない企業、2022年5月31日までに2021年度の決算短信を開示できなかった企業は対象外としており、ランキング対象社数は3,518社である。
- ・ 本レポートに用いている2022年度の数値は、①企業による決算発表数値、②企業による見込み、③スプリングキャピタル社（以下、「SC社」）見込みの優先順位で採用している。本2023年2月基準レポートにおける2022年度見込みで、③SC社見込みを採用している企業数は22社である。
- ・ 2022年度の順位確定レポートは、2023年5月基準により、その翌月に作成される予定である。
- ・ 本レポートにおける「経営指標総合」（SC社ポイント）は、大項目である「成長性」、「資本利益率」、「売上高利益率」、「健全配当性向」の総合評価点であり、各配分は30%、25%、20%、25%となっている。
- ・ 各大項目を構成する中・小項目はP9、P10に記載している。また、各小項目は、最高偏差値80、最低偏差値20となるように極端な値（極値）の補正を行っている。また、中項目、大項目は小項目に基づくSC社ポイントであり補正は行っていないが、数度の偏差値を求める作業により、大項目のSC社ポイントの平均点は50となっている。
- ・ 本レポートにおける企業決算データはSC社が保有しているものであるが、一部の数字についてはSC社が契約している情報ベンダーの数字と検証を行い、正確性を高めている。しかし、その完全性をSC社は保証するものではない。尚、本レポートに記載されている内容は、資料作成時におけるものであり、予告なく変更されることがある。